

2009年1月26日

## VHF-LOW帯に適用可能な携帯端末向けマルチメディア放送の 放送方式および置局条件に関する検討状況

アドホックグループ3

アドホック3では、VHF-LOW帯に適用可能な携帯端末向けマルチメディア放送の放送方式および置局条件として提案された内容について審議を行ってきた。

このうち、放送方式については、提案方式がVHF-LOW帯での導入に適した方式であると考え、現時点で特段の修正は行っていない。

一方、置局条件については、他のシステムとの隣接条件についての検討が進んでいることから、これらの結果を踏まえ、資料の修正を行った。

### 1. 放送方式の検討状況

- ・ 提案された方式は、事業者数に応じた柔軟な帯域設定と事業者ごとの編成権、編集権の独立性を考慮し、以下の特徴を持った方式であり、アドホックでの審議の結果、特段の修正を行う必要がないと考えられる。
  - 伝送方式については、地上デジタル音声放送方式の技術的条件(平成11年11月29日 電気通信技術審議会答申)の伝送方式をベース。
  - 最新技術を考慮し、「ダウンロード機能」、「簡易動画の高画質化」、「MPEGサラウンド」、「IPパケット多重機能」などを含めた、高機能化を図る。
- ・ 今後、答申として記載すべき事項、民間規格とすべき部分についての切り分けについては、制度検討の動きを含め、必要に応じ修正を行うこととする。

### 2. 置局条件の検討状況 (別紙)

- ・ 提案された置局条件は、デジタル同士の混信保護比や、回線設計についての記載はあるが、隣接帯域との干渉についての記載がなされていない。
- ・ マルチメディア放送システムの共用条件に係る調査検討会(事務局: 電波技術協会)にて、下隣接となるFM放送との干渉実験結果がまとまったことから(資料4-6-3)、この結果を踏まえ、置局条件について資料の修正を行った。
- ・ 今後、上隣接となるVHF帯航空無線航行業務との干渉について、検討を進め、その内容についての記載を行っていく予定である。